

英語科学習指導案

日 時：平成 24 年 2 月 17 日（金）第 6 校時（14 時 10 分～15 時 00 分）
 学 年：中学部 1 年（9 名）
 授 業 場 所：1 年生教室

1. 題材名 Lesson 8 それぞれの冬休み（Your Own Winter Vacation）

2. 単元（題材）の目標

- (1) 不規則動詞の“did”の意味と使い方を理解すること。
- (2) 規則動詞の過去形に“-ed”をつける時の方法と発音の仕方を理解すること。
- (3) 過去形の疑問文と応答文の構成を理解すること。

3. 単元（題材）の指導計画 指導計画（全 6 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形の文を作る時，動詞を過去形へと変化させることを知る。 ・変化の仕方は規則動詞と不規則動詞では違いがあることに気づく。 	
第 2 時	<ul style="list-style-type: none"> ・規則動詞の後ろに“-ed”をつけると過去形になることを知る。 ・動詞の種類によって“-ed”の部分の発音が [d], [t], [id] の 3 通りに分かれることを理解する。 	
第 3 時	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形の文を疑問文にする時は，人称に関係なく文頭に“Did”を持ってくると理解する。 ・過去形の否定文では人称に関係なく“didn't”を使うことを理解する。 	P C
第 4 時	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形の文はほとんどの場合，過去の時を表す語句を伴うことを発見する。 “-ed”の [d], [t], [id] の発音を聞き分ける。（本時 4 / 6） 	P C
第 5 時	<ul style="list-style-type: none"> ・不規則動詞変化一覧表を使いながら，現在形の文を過去形の文に書き換える。 	
第 6 時	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形の疑問文で使われる“Did you?”などの省略文の構造と使い方を理解する。 	

4. 本時の目標

- (1) “Read and look up”で英語を話す。
- (2) 英文を聞いて現在形と過去形の文の区別をする。
- (3) 画面を見ながら，英文の単語の順序や単語の文字の順序を予想する。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・生徒 〔・学び合い ・発表 〕 ・指導者 〔・課題提示 ・説明 〕
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ
活用する機器	・P C （ Power Point ）

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	個別学習→協働学習 ①ALT に聞いてもらおう英文を暗唱する。 ②隣り同士で英文を言ったり聞いたりする。		・全員が声を出し、暗唱の意欲が高まるように声をかける。
展 開	個別学習→一斉学習 ③ALT の前で英語を話す。 ④ALT の質問に答える。 協働学習 ⑤英文を聞いて現在形か過去形かを区別する。 一斉学習 ⑥画面を見て現在形か過去形かを区別する。	PC(指導者)	・発表者が困った時に、ヒントとなるべき言葉をかける。 ・ミスを恐れず、積極的に行動するように支援する。 【英文を提示する。】 ・” -ed ” の発音と時を表す語句を見つけられるように支援する。
	個別学習→協働学習 ⑦画面を見て単語を発音し、スペルを言う。	PC(指導者)	【単語を提示する。】 ・PC のスピードに負けないようにするための声をかける。
	個別学習→協働学習 ⑧画面を見て、文字を並べかえながら正しい英文を予想する。	PC(指導者) PC(生徒)	【一文字を提示する。】 【わからない時はクリックで進める。】
ま と め	一斉学習 ⑨画面を見て、次の単語を予想して英文を作る。	PC(指導者)	【単語を提示する。】 ・できるだけ多くの英文を発表できるよう支援する。

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) ALT の前で、恥ずかしがらずに英語を話すことができたか。
- (2) 過去形の文の特徴を理解することができたか。
- (3) 単語のスペルや英文の仕組みを発見することができたか。

8. 準備物 学習プリント， P C （ Power Point ： 現在形と過去形の文，曜日と月の単語，日常英会話表現 ）